

●目次

「まえがき」——世界史の転換点に立ち、ケインズから学ぶ 平井 俊顕 1

▼ケインズ・パイロット・シンポジウムの開始に当たって 13

■第1部 討論 世界経済のゆくえ・日本経済のゆくえ

——ケインズの経済理論・経済政策論の視点から 15

- ・浅田 統一郎
- ・小野 善康
- ・吉川 洋
- ・野口 旭〔司会〕

■第2部 討論 現代資本主義をどうとらえるのか

——ケインズの経済思想・社会哲学・哲学の視点から 69

- ・伊藤 邦武
- ・岩井 克人
- ・間宮 陽介
- ・平井 俊顕〔司会〕

■第3部 ケインズと日本の経済学の歩み——「私のケインズ研究」 119

- ・伊東 光晴
- ・若田部 昌澄〔インタビュー〕
- (1) 学生時代 〈二人の講義——鬼頭さんと古谷さん〉 一 (2) 研究者への歩み
- (3) 全集発刊を受けて——「一般理論」研究第三期

▼ケインズ・パイロット・シンポジウムを終えて 142

■第4部 ケインズをとらえる視座

ケインズとマルクス——政治経済学の思想と理論の再発展に向けて 伊藤 誠 147

- 1 類縁性 一 2 差異 一 3 現代的意義

ケインズとシュンペーター——道徳的想像力による21世紀のヴィジョン 塩野谷 祐一 163

- 1 第一級の知性とは 一 2 通説的比較 一 3 「知識の場」における「被投」と「投企」
- 4 問題意識の違い——「政策」と「認識」 一 5 経済を超える道徳的想像力
- 6 経済学の豊かさのために

ケインズと私——「ケインズ・根岸均衡」 根岸 隆 185

ケインズと新自由主義——「市場と国家のベストミックス」は可能か？ 橋本 努 191

- 0 はじめに — 1 新自由主義によるケインズ主義の包摂 — 2 美人投票の理論
 3 市場を動態化する政府介入 — 4 思想的検討

ケインズと「今日性」——彷徨の資本主義に向かって 平井 俊顕 217

- 1 経済学と経済政策 — 2 世界システム — 3 資本主義観
 補論—ケインズ、その「外部」の豊かさについて

ケインズと公共哲学——回顧的エッセーとシリアスな課題 山脇 直司 235

- 1 ケインズとの出会い — 2 ヘーゲルと経済学 — 3 ミュンヘン大学留学時代 —
 4 社会的市場経済と共通善 — 5 日本におけるケインズ主義、新自由主義、そして、新しい公共
 6 3・11を経て、「経世済民の学」を

■付論 ケインズとは何者か? 平井 俊顕 255

— 生涯 — Ⅱ 主要著作の紹介 — Ⅲ 年表

〔あとがき〕——「ケインズ学会」の設立に寄せて ケインズ学会設立委員会 278

危機の中で〈ケインズ〉から学ぶ

——資本主義とヴィジョンの再生を目指して——

2011年12月10日初版第1刷印刷

2011年12月15日初版第1刷発行

著者 ケインズ学会 [編] 平井俊顕 [監修]

発行者 高木有

発行所 株式会社作品社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-7-4

Tel 03-3262-9753 Fax 03-3262-9757

<http://www.tssplaza.co.jp/sakuhinsha/>

振替口座 00160-3-27183

編集担当 福田隆雄

装 幀 小川惟久

本文組版 有限会社閏月社

印刷・製本 シナノ印刷(株)

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替えいたします

定価はカバーに表示してあります

ISBN978-4-86182-357-2 C0033

© Keynes Society Japan, Hirai Toshiaki 2011